

令和6(2024)年度(令和5年度実績)みよし市教育委員会点検評価報告について

資料1

R6(2024).8.28 会派代表者会資料
R6(2024).8.30 全員協議会資料
教育部 学校教育課

【作成趣旨】

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項の規定に基づき、教育委員会の事務等について点検及び評価を行い、その報告書を議会に提出し、公表していく。

【構成】

- 第1章 教育委員会点検評価報告の概要
- 第2章 教育振興基本計画における各事業の実施状況
- 第3章 教育委員会の活動等に関する事業実施状況報告
- 第4章 学識経験者による意見
- 第5章 今後の方針

【報告概略】

1 20の作戦Plus One(重点施策)の実施状況報告

作戦 PlusOne	「みんなで育てるみよしっ子」の充実と周知啓発 地域・家庭・学校がみんなで子育て・学校・地域づくりに参画する地域学校協働活動を推進するとともにみよし市教育プラン掲載の「みんなで育てるみよしっ子」の内容について、議会やメディアを通して発信したり、パンフレットを広く配布したりした。
作戦1	子育て総合支援センターでの交流・相談活動の推進 子育て総合支援センターの運営を民間事業者へ委託し、魅力ある講座の創設や相談を受ける体制の充実を図った。今後は児童育成計画に係る市民のニーズ調査の結果を分析し、ニーズに対応した企画を立案する。
作戦2	放課後児童クラブによる子育て支援の拡充 移送事業の受け入れ先(児童クラブ)を2箇所(南部、緑丘)から3か所(中部、南部、緑丘)へ拡充を実施した。地域全体で子どもを育てる場としてモデル校2校(北部、天王)で放課後子ども教室を実施した。
作戦3	家庭の教育力向上のための啓発活動の推進 「広報みよし」に「家庭教育だより はぐくみ」を掲載し、家庭の教育力向上に向けて広報・啓発を図った。子育てに関連する機関と連携し、家庭教育だよりの内容のニーズを把握し、家族で考える機会となるよう努めた。
作戦4	困難を抱える家庭に対する個別支援の充実 専門相談員の相談時間数を増やし、相談員等関係者、学校、関係機関との連携の時間を確保でき、組織的に支援を行うことにつなげた。学校関係者と専門相談員がオンラインで会議できる仕組みを整え、連携の強化に努めた。
作戦5	主体的・対話的で深い学びを実現するための、教員の資質向上への取組 教科領域等指導訪問の訪問計画を見直し、学習指導要領に対応した「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善、各教科の特性に合わせた「見方・考え方」の育成に向けて、各校の現職教育の充実につなげた。
作戦 6-1	授業におけるICT活用の推進 教育研究員がこれまで蓄積した数多くの活用事例を学年ごとの段階表にまとめ、ICT機器の活用場面や指導方法を整理した。プログラミング研修を中学校にも拡大し、小学校との接続を意識した学習となるよう工夫した。
作戦 6-2	新たな学びを支えるICT教育環境整備の推進 各校から推薦された専門部員からなる学校教育情報化推進委員会専門部会を年間数回実施し、授業支援ソフトやCP室、校務支援システム等、次回更新に向けて学校現場の実情に合わせたよりよい環境を検討した。
作戦7	ALT・小学校外国語対応非常勤講師による外国語指導の充実 教職員を対象に、ALTによる外国語活動研修会を実施(小中連携を意識した取組)した。8月実施のイングリッシュキャンプについては、小学生4・5・6年生まで対象を拡大して実施できるよう検討した。
作戦8	道徳教育の研究推進 道徳推進教師研修会で授業研究を行うとともに、各校の「評価」に関する研究の集約をし、発達段階に応じた子どもの姿の見取り方と評価をまとめ、学校へ配付した。
作戦9	みよし市体力向上計画の推進 「いいじゃんスポーツチャレンジ in みよし」として、8の字跳びの通信制大会を実施し、みよしのHPに結果を掲載した。市内全小中学校が参加した。今後に向けて種目増を含め、開催内容の充実に向けて検討を行った。
作戦 10	個別支援を要する子どもへのサポート体制の充実 外国人の未就学の子どもに対して、年間15回のみよしっこひろば(プレスクール)を継続実施した。本年度の実績を保育園長会や幼稚園長会の協力を仰ぎ、必要な家庭へのさらなる周知を図った。
作戦 11	小中学校における学級指導体制の充実 小学校6校の中高学年にて、一部の教科で教科担任制を実施した。市内小学校1校の小学5年生で30人学級を試行的に実施し、よりよい少人数学級の在り方について検討した。

作戦 12	大規模改修による学校施設の整備 天王小学校普通教室棟建設及び職員室増築については、令和4、5年度の工事が計画通り完了し、令和5、6年度で実施している南中学校大規模改修(2期)工事について、令和5年度分の工事は計画通り完了した。
作戦 13	「みよし市版コミュニティ・スクール」の設置 コミュニティ・スクールの設置を、三好中・北中・南中・三好丘中・三好丘小・緑丘小の6校とした。三好中学校では、テーマを変えて4回「わくわくわくわく作品展」を実施し、卒業生や地域の方の作品も展示され効果的だった。
作戦 14	サンライズの生涯学習拠点化の推進 令和5年度からは、サンライズでの講座に加えて、おおよし交流センターにおいて14講座を開催した。今後もおおよし交流センターでの講座数を拡大する。
作戦 15	地域や自主的サークルによる生涯学習の推進 生涯学習活動団体への継続的な助成を行い、生涯学習発表会を実施した。引き続き、生涯学習活動団体数を増やすために、広報みよしへの掲載を行った。
作戦 16	総合型地域スポーツクラブの育成 交付する補助金の補助対象経費について、各クラブが自主運営団体として地域に根差した活動が継続できるよう、運営費補助から事業費補助へ変更し、団体の育成を支援した。
作戦 17	歴史民俗資料館展示の充実 春季企画展「猿投窯発見の丘」、夏季企画展「見る・学ぶ・楽しむ昆虫展」、秋季特別展「みよしと戦争」、冬季企画展「第42回ひな人形展」を開催した。資料館在り方検討会の提言を受け、その内容を分析した。
作戦 18	サンライズでの充実した図書館サービスの推進 ボランティア方向けの養成講座を開催し、中学生の読み聞かせスキルを向上させた。電子書籍サービスとして蔵書数を2,103冊まで増加し、充実を図った。
作戦 19	ふるさと学習の推進 各校で副読本「みよし」を活用し、文化施設や農業施設等の見学や体験を取り入れた学習を実施した。初任者教職員を対象に、「みよしを知ろう」の研修を実施し、みよし市について理解を深めた。
作戦 20	学校ボランティアをきっかけとした地域教育力の結集 「みよし未来塾」を夏休み12日間、冬休み3日間に延べ281人の中高生が参加した。三好中学校の活動を市内各校に広げ、全中学校、2小学校に地域コーディネーターを配置し、令和6年度中に市内全小中学校に配置できるよう各学校と調整を行った。

2 学識経験者による意見

(1)「みよし市教育振興基本計画の令和5(2023)年度施策実施状況をめぐる成果と課題—学校教育を中心に—」
中部大学 教職課程センター長補佐 専任教授 武者 一弘
専門相談員の拡充が図られたことで、当事者には手厚い支えとなっていること(作戦④)、個別の指導計画の活用状況が100%となっており、現場の並々ならぬ努力と熱意を感じる(作戦⑩)、国による条件整備の充実をひたすらに待つことなく、市独自に創意工夫をして積極的に取り組んでいること(作戦⑪)、90%の子どもが自分の学校を「学校施設が安心・安全・快適である」と答えていることについては他では見られないため、おとなたちの願いや温かなまなざしを子どもは感じ、自分たちが大切にされている感覚を得られていること(作戦⑫)について、高い評価をいただいた。一方で、作戦①②③④は「みんなで育てるみよしっ子」の具体であるため、これらの取組について啓発することで浸透を図ること、また、子どもが自由にスポーツに親しみスポーツ文化を誰もが享受できるような全市的な体制整備の検討すること(作戦⑨)、子どもめぐる取組のあらゆる場において、子どもの意見表明・参加の機会を位置づけるよう、助言をいただいた。

(2)「みよし市教育振興基本計画の令和5(2023)年度実施状況をめぐる成果と今後の展望—社会教育・生涯学習を中心に—」
愛知教育大学 教育学部 准教授 中山 弘之
サンライズに限らず、おおよし交流センターにおいて新たに14講座を開催したこと(作戦⑭)、総合型地域スポーツクラブで活動した述べ人数は、コロナ禍で活動人数が大幅に減少した時点に比べれば大きく回復していること(作戦⑯)、土器・石器づくり、土器型クッキーづくり、灰釉陶器づくりなど小学校4校への出前授業が前年度以上に行われ、学校との連携が進みつつあること(作戦⑰)、市内の全ての中学校と2つの小学校に地域コーディネーターが配置されるなど、地域学校協働活動やコミュニティ・スクールを推進するための土台が着実に進められていること(作戦⑱)については、高い評価をいただいた。一方で、働いている世代対象の事業拡大のため、週末、祝日、夜間の利用者のニーズを対話により集めていくこと(作戦⑲)や市民の子どもたちに歴史の課題とその解決策について学習・調査・研究してもらう等資料館の在り方を検討する取組に子どもたちの声を入れていくこと(作戦⑳)や今後は各校の地域コーディネーター同士の研修の場を設けていくこと(作戦㉑)について、助言をいただいた。

20の作戦 Plus One 成果指標に対する 進捗状況

I 次代を担う 子どもをみ んなで大切 に育てる

Plus One

「みんなで育てるみよしっ子」を市民で共有し、子どもたちを育てます

「みんなで育てるみよしっ子」を知っている割合

現状(R4)	目標(R7)
市民20% 保護者18%	市民70% 保護者70%

①

安心して子育てができる環境を整えます

気軽に相談できる人・場所がある人の割合（就学前）

現状(H30)	目標(R7)
91.7%	95%

②

働きながら子育てをする市民を応援します

放課後児童クラブの利用児童数

現状(R5)	目標(R7)
649人	640人

③

子育てに役立つ情報をたくさん発信します

広報と共に配布する家庭教育だよりを読んでいる保護者の割合

現状(R4)	目標(R7)
41%	70%

＜参考＞R5年度家庭教育だよりテーマ
5月「学ぶ楽しさで、人と人をつなぐ」
7月「インターネットの安全な使い方について親子で考えてみよう」
9月「親子で災害シミュレーションしてみよう」
11月「子どもを伸ばす食のイロハ」
1月「大切にしたい家族の時間」
3月「親子で交通ルールを見直そう」

④

子育てに困っている家庭をたくさんの手で支えます

学校以外に相談できる公的機関を知っている保護者の割合

現状(R4)	目標(R7)
33%	60%

⑤

自ら考える力のつく楽しい授業を、「みよし12」で実践します

「話し合う活動を通じて、自分の考えを深め、広げている」と実感する児童生徒の割合

現状(R5)	目標(R7)
小学校76.6% 中学校80.8%	小学校85% 中学校85%

⑥-1

子どもがICTを活用する力を育てます

教員のICT活用指導力

現状(R5)	目標(R7)
指導にICTを活用して指導できる教員の割合 78%	指導にICTを活用して指導できる教員の割合 80%

⑥-2

新たな学びを創造するためのICT環境を整備します

一人一台タブレットの活用状況

現状(R5)	目標(R7)
【参考】R5年度59% 週3回以上使用率	授業での活用90%以上を維持

⑦

生きた英語に触れる外国語学習を充実させます

学校が英語の授業で「ALTを積極的に活用した」と回答した割合

現状(R5)	目標(R7)
小学校78% 中学校44%	小学校80% 中学校90%

⑧

子どもの心を育てる教育を大切にします

「人の役に立つ人間になりたい」と思う児童生徒の割合

現状(R5)	目標(R7)
小学校68.4% 中学校67.5%	小学校85% 中学校80%

⑨

たくましく健康な子どもを市全体で育てます

「全国体力・運動能力調査の体力テストの合計点（全国との比較）」

現状(R5)	目標(R7)
小5男子52.3(全国比-3.1) 小5女子55.1(全国比-0.6) 中2男子39.5(全国比-4.6) 中2女子43.6(全国比-7.4)	運動意欲の向上 小学生・中学生の男女とも全国合計を上回る

⑩

個別の支援が必要な子どもを応援します

個別の指導計画の活用状況

現状(R5)	目標(R7)
【参考】R3年度引継ぎに活用した割合 100%	校内で共有90%以上(月1回以上の活用)

⑪

一人一人が良さを発揮できる学校づくりをします

小学校における教科担任制教科の割合

現状(R5)	目標(R7)
市内小学校6校の中高学年の一部教科で実施	小学校中高学年の3教科以上で教科担任制

⑫

安心・安全・快適な学校環境づくりを進めます

「学校施設が安心・安全・快適である」児童生徒の割合

現状(R4)	目標(R7)
小学校90% 中学校90%	小学校90% 中学校90%

⑬

地域とともにある学校づくりを進めます

コミュニティ・スクールを活用した取組

現状(R5)	目標(R7)
市内小学校2校をモデル校として設置	コミュニティ・スクールの活用と地域学校協働本部との連携

II 生涯にわたって 学び続ける市 民を応援する

⑭

サンライブでいろいろなことが学べるようにします

生涯学習講座を受講した人の数

現状(R5)	目標(R7)
6,239人	3,000人

⑮

市民が発信する生涯学習活動を応援します

生涯学習活動を行っている団体の数

現状(R5)	目標(R7)
生涯学習活動登録団体 48団体	生涯学習活動登録団体 70団体

⑯

市民がいろいろなスポーツに親しめるようにします

総合型地域スポーツクラブで活動した延べ人数

現状(R5)	目標(R7)
40,505人	58,000人

⑰

みよしの歴史や文化を広く市民に発信します

みよし市の歴史に関心のある市民の割合

現状(R4)	目標(R7)
有数の陶器産地であったことを知っている34%	有数の陶器産地であったことを知っている60%

⑱

読書好きな市民が増えるような環境づくりをします

「本を読むことが好きである」児童生徒・市民の割合

現状(R4)	目標(R7)
小・中学生73% 市民69%	小・中学生85% 市民80%

III「ふるさとみよし」を創る 市民を育てる

⑲

みよしのことが大好きになる学習をします

「みよしのことが好きである」児童生徒の割合

現状(R4)	目標(R7)
小学生93% 中学生86%	小学生95% 中学生90%

⑳

地域の教育力を集め学校づくりと地域づくりを支えます

地域コーディネーターを活用した取組

現状(R5)	目標(R7)
ボランティア登録数64名 全中学校、2小学校において、地域コーディネーターを配置	各小中学校に配置